



STRATEGY

視覚障がい者は健常者と比べて

能力（視力）をもっていない弱者

と思われがち



しかし実際は、脳の90%を占める視覚に代わって、

他の感覚器官が健常者よりも
研ぎ澄まされている個性

をもっている一面を伝えていく

IDEA

料理の姿がみえない人。

それは、ほんとうのおいしさがみえる人。

画のないグルメガイドは、

見かけの奥にひそむ

かおりを、食感を、味わいを、

視覚障がい者がおしえてくれる食メディアです。

彼ら・彼女たちの言葉をつうじて、

これまで気づけなかった

食の新たな奥深さに会いにいこう。

IMPLEMENTATION

1 レポーター募集



渋谷区がこれまでに視覚障がい者をサポートしてきたメディアアセットを用いて、グルメレポーターを募集



2 取材 & 制作



レポーターの方に食事をしてもらい、感想を取材 & 記事を制作。取材相手のお店には「ほんとうのおいしさを届ける店」としてステッカーを贈呈

3 渋谷区から発信



紙媒体 / デジタル / 音声ラジオなど渋谷区のもつメディアからグルメガイドを刊行。コメントを読みながら実際の料理を想像する、新たな食読体験をお届け



PROTOTYPE



実際にあったコメント：（イカスミパスタを食べて）

香り：「この匂いは、海がみえます。」

食感：「柔らかい麺…たくさん揉まれた生地なんでしょうか。」

味わい：「イカの奥に隠れた、やさしいハーブが気持ち良いです。」

事前の料理イメージ（視覚情報）がない分、香り・食感・味わいと、1つの料理を多面的に味わうのが特徴。さらに、目にみえる料理だけでなく、その奥にある「シーン・情景」が浮かぶことが多いのだとか。協力（東京都盲人福祉協会のみなさん）